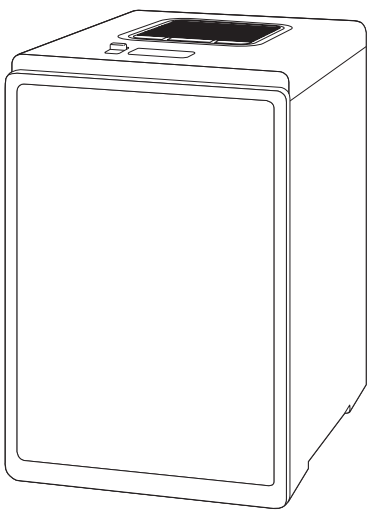
YAMAZEN

取扱説明書・保証書

●業務用として使用しないでください。
●他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

スチーム式加湿器
BEAR-ST34



もくじ

●安全上のご注意…… ①〜②
●知っておいていただきたいこと…… ③
●設置…… ④
●各部の名称…… ⑤〜⑥
●使いかた…… ⑦〜⑨
●お手入れ…… ⑩〜⑪
●故障かな?と思ったら…… ⑫
●収納のしかた…… ⑫
●よくあるご質問…… ⑬
●仕様…… ⑬
●アフターサービスについて…… ⑭
●保証書…… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

・このたびは、弊社スチーム式加湿器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
・ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
・お読みになった後は、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOK を チェック!
随時情報を更新中!

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

⚠ 警告 誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの

⚠ 注意 誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明

禁止 禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

指示 指示する行為の強制(必ずすること)を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

注意 注意を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

⚠ 警告


分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。


水濡れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

吹出口や通気口に水が入らないようにしてください。
感電・ショート・故障の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う


交流100V 15A以上

交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の機器と併用したり、延長コードを使用したりすると、発熱による火災の原因になります。


ホコリをとる

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る

プラグにホコリがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。


根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電・ショート・発火の原因になります。



本体の移動時は電源プラグをコンセントから抜き、必ず水を捨てる

こぼれた水による床濡れや、けがの原因になります。底面の取っ手をしっかりと持ち、滑らないようにしてください。


プラグを抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがの原因になることがあります。


プラグを抜く

異常時（水もれ・焦げくさいにおいがするなど）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。
運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。


プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときはコードを持たずに、必ずプラグを持って引き抜く

断線・ショートして感電・故障・発火の原因になります。


プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを長期間差し込んだままにしますと、ホコリなどが積もることによって絶縁劣化を起こし、感電・漏電火災の原因になります。


濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。


禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。


禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したり、高温部に近づけたりして使用しない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。


禁止

マグネットプラグにピンや針金など金属物や異物を付着させない

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。


禁止

マグネットプラグをなめさせない

乳幼児が誤ってなめないようにしてください。
感電・けがの原因になります。

⚠警告

包装用ポリ袋は、お子様や乳幼児の手の届かない場所に保管する

誤って被ったとき窒息し、死亡の原因になります。

禁止

すき間などからピンや針金など、金属物や異物を入れない

感電・火災の原因になります。

禁止

お子様だけで使用させたり、乳幼児の手の届く場所で使用したりしない

感電・けが・やけどの原因になります。

禁止

倒れて他の電気製品などに水がかかるような場所に置かない

こぼれた水で、感電・ショート・故障の原因になります。

禁止

吹出口や通気口をふさいで運転しない

本体に衣類やタオルなどをかけて運転しないでください。故障の原因になります。

禁止

毛足の長いじゅうたんや畳の上、傾斜面などの不安定な場所で使用しない

振動したり、引っ掛けて転倒したりすると水がこぼれて、感電・ショートの原因になります。

禁止

使用中や使用直後は本体を動かさない

ふたがしっかり閉まっていないと転倒したとき、ふたが開き熱湯が流れ出すため危険です。

禁止

使用中や使用直後は吹出口や高温部に顔などを近づけたり、触ったりお手入れをしたりしない

やけどの原因になります。

禁止

使用中や使用直後にふたを開けたり、ふたを開けたまま運転したりしない

蒸気により、やけどの原因になります。

⚠注意

こまめなお手入れ

水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換えて、本体内部を定期的にお手入れする

水タンクに水あかが付着して、加湿量の低下や故障の原因になります。週に1～2回は必ずお手入れをしてください。また、水を入れたままにしておくと、異臭などの原因になります。

禁止

水タンクに化学薬品・汚れた水・アルカリイオン水・ミネラルウォーターなどを入れない

水道水以外は使用しないでください。故障や、雑菌の繁殖の原因になります。

禁止

お部屋の加湿以外の用途で使用しない

お部屋の加湿以外の用途で使用すると感電・故障の原因になることがあります。

禁止

暖房器具の上や近く、直射日光が当たる場所に置かない

プラスチック部分が変形・変質・変色することがあります。

知っておいていただきたいこと

【安全・快適にお使いいただくために】

●お手入れは、こまめに行ってください。(10～11ページ参照)
水タンクなど内部に水あかが付着すると故障・異臭の原因になります。

●やけどのおそれがあります。次のことに、ご注意ください。
・使用中や使用直後は吹出口や高温部に触れたり、顔などを近づけたりしない。
・お子様だけで使用させたり、乳幼児の手の届く場所で使用したりしない。
・不安定な場所で使用しない。
・給水は、本体が冷めてから行う。
・ふたを開けたまま運転しない。

●水タンクに水を入れないと運転しません。

●本体下部や床(設置場所)を時々清掃してください。こぼれた水を放置すると、床を傷める原因になります。

●毎日水を入れ換えてください。また、長期間使用しない場合は必ず水を捨ててください。
水あかの付着や、水の腐敗による悪臭の原因になります。

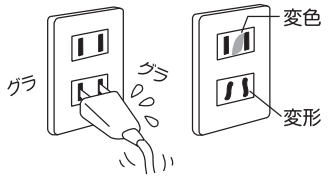
●凍結する場所に電源を切って放置する場合は、必ず水タンクの水を捨ててください。

●内ぶたの周りに付いているパッキンは取り外さないでください。
無理に取り外した場合、取り付け直すことができません。

●水タンクはステンレス製の為、使用するにつれて変色することがありますが、ご使用に差し支えありません。

●コンセントの差し込みがゆるくなっていないか(コンセントの老朽化)、タコ足配線をしていないか、電源プラグが根元まで差し込まれているかなどを確認してください。
ゆるくなったコンセントは使用しないでください。
電源プラグの刃が変形している場合やコードに傷がある場合などは、使用を中止して修理をご依頼ください。

コンセントの点検



次のようなコンセントは早めに交換をしてください。

●電源プラグが軽く差し込める・すぐに抜けてくる。
●変色・変形している。

※良好なコンセントは、電源プラグを差し込むときに多少力が必要で、差し込んだ後もグラグラしません。

●この商品は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。

【加湿開始までの時間について】

当機器は、水タンク内の水が沸騰することで加湿する構造のため、満水時においては運転開始から加湿開始までに30分程度の時間がかかります。沸騰するまでの時間を早めるために水温がある程度高くなるまでは加速ヒーターで加熱します。
このときの消費電力は600Wですが、沸騰近くになると設定した加湿量に応じた電力に切り換わり沸騰を持続します。
定常加湿状態での消費電力は以下になります。
強…480W　中…310W　弱…240W

設置

●右図のように周囲との距離を十分とって
安定した平らな場所に設置してください。
●吹出口や通気口をふさがないでください。
●図の範囲には、物を置かないでください。
●次のような場所に設置しないでください。

・傾いていたり不安定な場所
加湿器が倒れて水がこぼれたり、故障の原因になります。

・子供や乳幼児の手の届く場所

・電気製品や精密機器などの近く
機器に水分が付着して故障の原因になります。

・直射日光の当たる場所

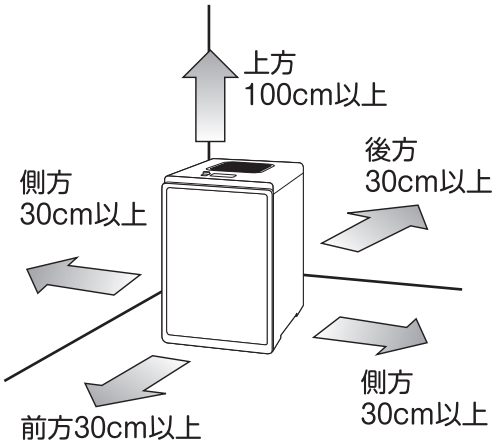
・暖房器具など他の熱源の近く
機器の変形・変色の原因になります。

・テーブルクロスなど熱に弱いものの上
変形の原因になります。

・高いところ
加湿器が落下して水がこぼれたり、故障やけがの原因になります。

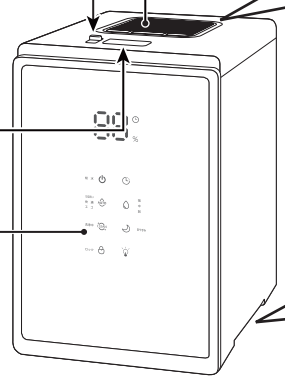
・吹出口から出る蒸気が直接、家具や壁などに当たる場所
しみや変形の原因になります。

・風通しが悪く、熱気がこもる場所
本体の熱によって、機能低下や故障に至ることがあります。



●空気が循環しない場所に設置されますと、機器の湿度表示がお部屋の湿度計とは大きく異なる場合があります。

各部の名称

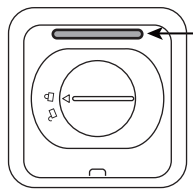


吹出口
蒸気が出ます。

ふたロックつまみ
ふたを閉めた状態でつまみを下げると(🔒印側)、ふたが開かなくなります。

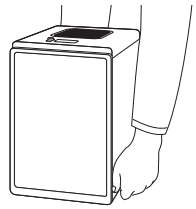
開閉ボタン
押すとふたが開きます。

表示部・操作部
※次ページ参照



ランプ
吹出口の内部にあります。

取っ手(本体) 底面の両側にあります。

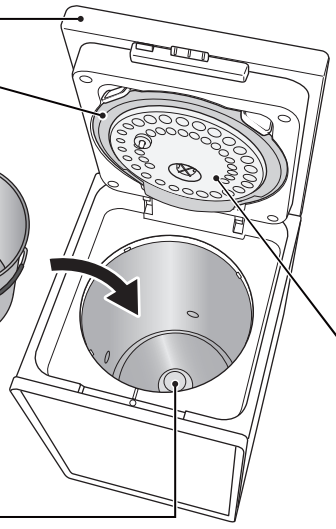


⚠ 注意

使用中や使用直後は、動かさないでください。
熱湯がこぼれて、やけどの原因になります。

ふた

パッキン
内ぶたと一体型です。
取り外しできません。



水タンク
(ステンレス)

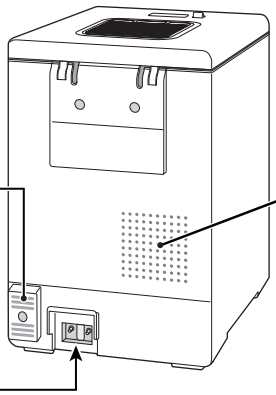
取っ手(水タンク)

内ぶた
(金属板)

温度センサー

⚠ 注意

水タンクの外側や温度センサーに異物がつかないようにしてください。
水が加熱できない原因になります。



湿度センサー
濡らしたり塞いだりしないでください。
汚れたときは乾いた布でふき取ってください。

通気口
ふさがないでください。

マグネットプラグ接続口
汚れや水が付着したときは、ふき取ってください。

各部の名称

表示部



切タイマーランプ

%ランプ

操作部

給水ランプ

電源ボタン

オート(AUTO)ボタン/ランプ
湿度を設定して自動的に運転させます。

クリーン(CLEAN)ボタン/ランプ

チャイルドロックボタン

切タイマーボタン

加湿量切換ボタン/ランプ
加湿量を3段階に切り換えます。

おやすみボタン/ランプ

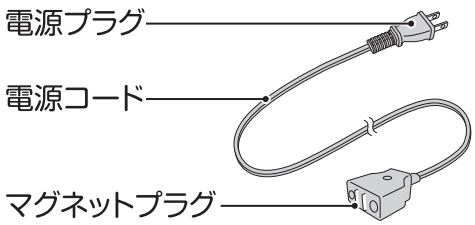
ランプボタン

●本体の操作ボタンはタッチセンサー式です。ボタンを指先全体でしっかりと触れてください。
触れる面積が小さいときは、反応しないことがあります。
●ボタンに触れるたびにブザーが1回鳴ります。
●表示部と操作部は、操作後15秒で自動的に減光します。

付属品

電源コード

●初めて使用するときは、ふたを開けて電源コードを取り出してください。
●付属の専用電源コード以外は、使用しないでください。

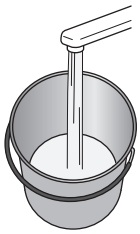


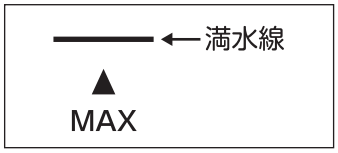
使いかた

【水タンクへの給水】

①水タンクに水を入れる。

水は満水線より多く入れないでください。





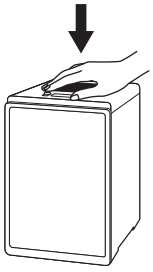
②本体に水タンクをセットする。

水タンクの取っ手を手前側に倒して、
ふたや本体と干渉しないように収めてください。





③ふたをしっかり閉める。



警告

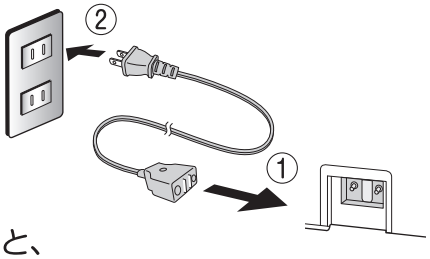
使用中や使用直後は給水しない
やけどの原因になります。本体や水タンクが冷めてから行ってください。

水タンクの外側が濡れたまま本体にセットしない
ショート・感電・故障の原因になります。

注意

次のような水は使用しない
●ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水
…カビや雑菌が繁殖しやすくなり、故障の原因になります。
●化学薬品・芳香剤・アロマオイル・汚れた水…変形や故障の原因になります。

1 電源プラグをコンセントに差し込む



①本体にマグネットプラグを接続します。
②電源プラグをコンセントにしっかりと差し込みます。
ブザーが1回鳴り、表示部と操作部が点灯した後、
電源ボタン以外が消灯します。(待機状態)
③電源ボタンに触れると、表示部と操作部が点灯します。
※電源ボタンに触れた後、15秒以内に他のボタンに触れないと、
待機状態になります。

ご注意ください

※コンセントの定格を超えないようにしてください。
※ゆるみやがたつきがあるコンセントは使用しないでください。
※延長コードは使用しないでください。
※マグネットプラグに金属物やごみなどの異物が付着していないことをご確認ください。
※差し込み手順をお守りください。

使いかた

自動運転・おやすみ運転時の湿度表示

※機器の設置条件などにより表示される湿度は室内の湿度と異なることがあります。目安としてご使用ください。

※湿度が40%に下回ると L が表示され、湿度が75%を超えると H が表示されます。

2 加湿運転をする



加湿量切換ボタンに触れるたびに加湿量切換ランプが点滅し、
加湿量「強」「中」「弱」の3段階に切り換わります。ランプが点滅から点灯に変わると設定完了です。表示部に現在の湿度を表示します。

水がなくなったときは
- ●水がなくなると、給水ランプが点灯して運転を停止します。
- ●再度運転を行う場合は、本体が冷めてから水タンクに水を入れて、電源ボタンに触れて設定しなおしてください。

3 自動運転をする



自動運転時には次の動作を繰り返します。

設定した湿度を保つように、加湿運転の強弱を自動的に切り換えます。

- ●オートボタンに触れるたびにブザーが鳴り、設定中のオートランプが点灯し、湿度設定「うるおい」「快適」「エコ」の3段階に切り換わります。表示部に現在の湿度を表示します。
- ●「うるおい」…湿度55%～70%を保つように、加湿量「弱」で運転します。
- ●「快　　適」…湿度50%～60%を保つように、加湿量「中」で運転します。
- ●「エ　　コ」…湿度50%～55%を保つように、加湿量「弱」で運転します。

4 おやすみ運転をする



おやすみ運転時には次の動作を繰り返します。

設定した湿度を保つように、加湿運転の強弱を自動的に切り換えます。

- ●おやすみボタンに触れるとブザーが鳴り、おやすみランプが点灯し、湿度50%～60%を保つように運転します。
- ●再びおやすみボタンに触れると、設定解除します。

5 運転を終了する

電源ボタンに触れて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告　やけどのおそれがあります。

- ●蒸気の吹出口に触ったり、手や顔を近づけたりしない。
- ●給水は、本体が冷めてから行う。
- ●使用中や使用直後は、ふたを開けない。
- ●ふたを開けたまま運転しない。

使いかた ー各機能ー

切タイマー

設定時間 最長12時間まで
※加湿量設定により、最長設定時間が変わります。



●加湿運転または自動運転をさせてから、切タイマーボタンに触れてください。ブザーが鳴り、表示部に設定時間と切タイマーランプが点滅します。ボタンに触れるたびにブザーが鳴り、設定時間が切り換わります。



(例)2時間

●表示部が現在の湿度表示に、切タイマーランプが点灯に変わると設定完了します。

●設定時間が経過すると運転を停止します。

●12時間の次に切タイマーボタンに触れると、表示部に現在の湿度を表示し、切タイマーランプが消灯して切タイマーが解除されます。



●切タイマー運転中に、加湿運転または自動運転（切タイマー設定前の運転）の設定変更ができます。
設定変更した場合は、再度切タイマーを設定してください。

●すぐに運転を停止したいときは、電源ボタンに触れてください。

チャイルドロック



チャイルドロックを設定すると、運転設定を変更できなくなり、チャイルドロックを解除する以外の操作ができなくなります。

●チャイルドロックボタンを長押ししてください。ブザーが鳴り、ボタンが点灯してチャイルドロックが設定されます。

●解除するときは、再びチャイルドロックボタンを長押ししてください。

ランプの点灯・消灯



●加湿運転または自動運転時にランプボタンに触れると、ランプが点灯します。再度触れると消灯します。

減光機能

●運転時に何らかの操作を行ってから15秒経過すると、表示部と操作部の明るさを抑えます。

給水表示

●水タンクが空になるとブザーが鳴り、給水ランプが点灯します。水タンクへ給水してください。

お手入れ

警告 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

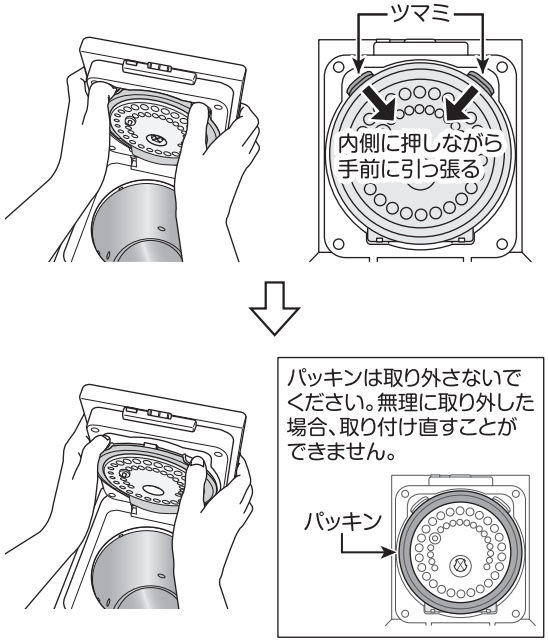
⚠注意 お手入れにはベンジン・シンナー・磨き粉・金たわしなどを使用しないでください。

【本体・内ぶた】

●乾いたやわらかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を布に含ませ、固くしぼってふいてください。
●通気口のホコリは掃除機で吸い取ってください。

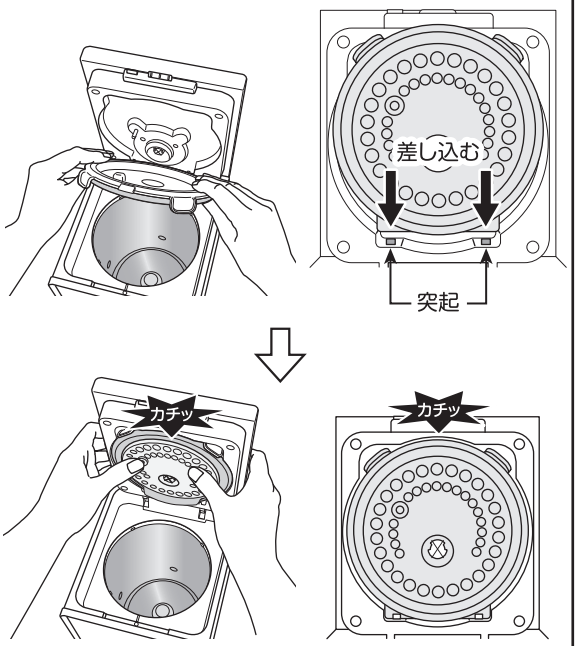
内ぶたの外しかた

内ぶたの上部のツマミ(2箇所)を内側に押しながら、手前に引っ張って外してください。



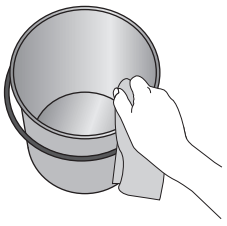
内ぶたの取り付けかた

ふたの下部の突起(2箇所)に内ぶたの下部をしっかりと差し込み、内ぶたの上部をカチッとはめ込みます。



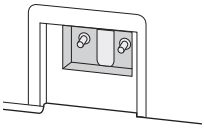
【水タンク】(1週間に1～2回程度)

①水タンクの水を捨ててください。
②水タンクを乾いたやわらかい布でふいてください。
水あか(白い付着物)が少しでも付着したら、中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジなどで洗ってからすすいで、水分をふき取ってください。放置すると水あかが固着して、故障の原因になります。



【マグネットプラグ接続口】

乾いたやわらかい布で汚れをふき取ってください。
マグネットプラグも同様に、お手入れしてください。
汚れたまま使用すると発熱などのおそれがあります。

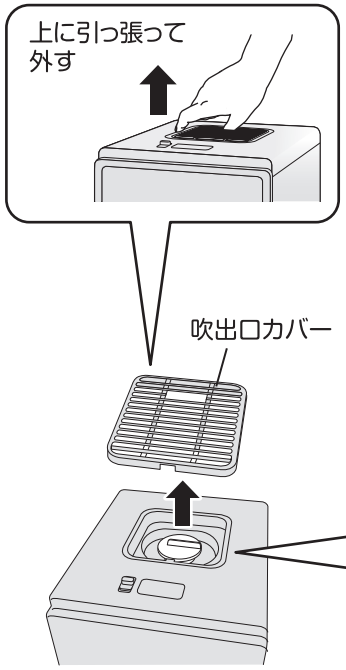


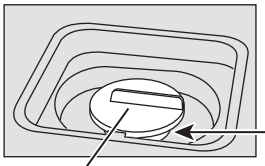
お手入れ

警告 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

【吹出口カバー・カバー内側】(1週間に1回程度)

カバーを取り外し、カバーや内側を乾いたやわらかい布でふいてください。
汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を布に含ませ、固くしぼってふいてください。お手入れ後は元通り取り付けてください。

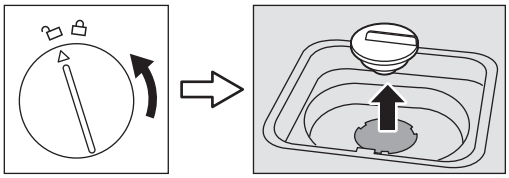




バルブの印	(開)	(閉)

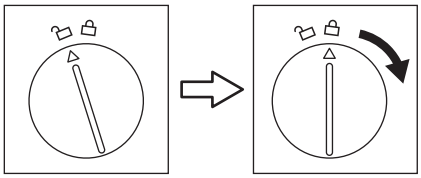
[バルブの取り外しかた]

△印を 印(開)に合わせて取り外す。



[バルブの取り付けかた]

△印と 印(開)を合わせて差し込んだ後、
印(閉)に合わせて固定する。



【クリーンボタンを使用する】

汚れやにおいが落ちにくい場合に使用してください。
※においによっては完全に落ちないものもあります。



①水タンクに水を満水線まで入れて、その中にクエン酸を50g程度入れてかき混ぜます。
②ふたを閉めてクリーンボタンに触れてください。クリーンランプが点滅し、表示部に「 」(回転)を表示し、水タンクの洗浄が始まります。
③洗浄が終わるとブザーが鳴り、クリーンボタンが5回点滅します。お湯を捨てて、スポンジなどでこすり洗いしてから、水で十分すすいでください。すすぎが不十分な場合、加湿時ににおいが出ることがあります。
※洗浄は60分以内に終了します。
※途中で洗浄を停止させたいときは、電源ボタンに触れてください。

お願い

- 洗浄後もにおいが気になる場合は、もう一度洗浄を行ってください。においによっては完全に落ちないものもあります。
- 空だきはしないでください。
- クリーニング後はすすぎ洗いをしてクエン酸を除去してください。
- クリーニングを行うときは、水は満水線より多く入れないでください。クリーニングがうまくできない原因になります。
- 洗浄後、内部が熱いうちにふたを開けると、熱い蒸気が多量に出ることがありますので、やけどにご注意ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき	ご確認ください
運転しない	●電源プラグがコンセントから外れていませんか。 →しっかりと差し込んでください。 ●マグネットプラグが外れていませんか。 →確実に接続してください。 ●マグネットプラグが汚れていませんか。 →コンセントから外し、接点を綿棒で優しくふいてください。 ●コンセントに電気は来ていますか。 →他のコンセントでもお試しください。
加湿しない	●水タンクが空になっていませんか。(給水ランプが点灯します。) →給水してください。 ●吹出口が目詰まりしていませんか。 →お手入れしてください。(11ページ参照) ●運転開始しても水が沸騰するまでは蒸気が出ません。 ●室温が高く加湿量が弱の場合、蒸気が見えない事があります。
においがする	●水が古くなっていませんか。 →新しい水に入れ換えてください。 ●使い始めは樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用にともないにおいがなくなります。 ●水タンク内部は汚れていませんか。 →スポンジ等を使い水あかなどの汚れを落とし、しっかりすすいでください。
湿度が上がらない	●お部屋の面積が適用床面積より広くはないですか。
水がなくなっても運転停止しない	●水タンクの底に水あかが溜まっていませんか。 →水タンクのお手入れをしてください。(10ページ参照)
湿度表示がずれている	●機器の周囲の湿度を表示しているため、お部屋全体の湿度とは異なる場合があります。
ときどき「プシューッ」という音がする	●渇水時に、ふたの裏側に結露した水滴がタンク底面に落ちる音で、異常ではありません。このとき、ふたを開けると熱い蒸気が出ることがあり危険ですので、冷めてからふたを開けてください。

※それぞれの点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、水タンクの水を捨て乾燥させてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

収納のしかた

●お手入れ後は水分をふき取り、直射日光の当たらないところで十分に乾燥させてください。
●製品をポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。直射日光を避け、湿気の少ない場所で保管してください。
※緩衝材を紛失した場合や箱に入れずに収納する場合は、製品を立てた状態でポリ袋などを被せてください。

⚠警告	電源コードをきつくたばねたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。 コードが破損し、火災や故障の原因になります。

よくあるご質問

ご　質　問	回　　答
電気代はどのくらいかかりますか?	強運転(最大加湿の場合)：1時間あたり約14.9円 ※電気料金目安単価31円/kWhを基に計算しています。 ※沸騰するまでは一時的に約18.6円/時間 相当の電気代
何時間連続で使用できますか?	強運転時(最も水を消費する場合)：約6時間 弱運転時：約13.5時間
何畳の部屋まで加湿できますか?	強運転の場合、 木造和室：9畳まで　プレハブ洋室：15畳まで
一日中連続で使用できますか?	連続で使用いただいてもかまいませんが、安全上給水時にはいったん運転を停止し、本体が冷めてから給水してください。

仕様

電源電圧	交流100V　50/60Hz		
定格消費電力	600W（加速ヒーター時:沸騰するまで）		
本体寸法	幅210×奥行270×高さ330mm		
質量	約4.5kg		
電源コード長	約1.5m		
運転モード	強	中	弱
加湿量	550ml/h	350ml/h	250ml/h
消費電力	480W	310W	240W
連続加湿時間	約6時間	約9時間	約13.5時間
適用床面積 （強運転時）	木造和室：～約9畳 プレハブ洋室:～約15畳		
安全装置	温度ヒューズ、電流ヒューズ		
水タンク容量	約3.4L		

※加湿量は、室温20℃・湿度30%のときの値で表しています。
※室内の温度や湿度によって加湿量はかわります。

アフターサービスについて

製品の保証について

●この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

●保証期間はお買い上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

●保証期間後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認いただき、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル 0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間　10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

●Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。